

# 暗暗 危機

KURAKURA  
CRISIS

—4月22日午後15時—

アケオチスキー先生

FOR  
R18  
ADULT ONLY



うた先輩に続いて  
なな先輩も  
チヨツキリ団に  
さらわれて  
1週間：

ついに私の前にも  
その首謀者が  
現れた。

チヨツキリーヌ……！

先輩たちは  
ゼツタイに  
私を取り戻して  
みせる！

先輩たちは  
無事なんですか！？

お二人を  
返してください！

はもりちゃんとも  
約束をしたんだ！

ふふふ  
健気で可愛い  
後輩じゃないか

あの二人も  
心の抛り所にして  
最後まで  
頑張るはずだ

っ……！



先輩たちを…

一体…  
どうしたの…？



そんなに  
ふたりが  
気になるかい？

なら今すぐ  
会わせて  
あげよう  
じゃないか



出でよ  
マツクランダー！

!!

ズ  
ズ

マツク…ランダー？

え…？  
そ、そんな…  
嫌…



その姿は…一体…

ははは

ズズズ

マツクランダーに  
改造されてえ♡  
ダークイーネ様に  
忠誠を誓おうよ♡

キユンキユン…  
あなたも



え...?  
先輩たちが...

プリキュアが...  
マツクランダーに?



キラキラ

ジュラララ



い、意味  
わかんない...  
やだ...こんな...

こんなの...  
心...  
キュンキュン  
しない...

元...戻せるの?  
どうしよう...  
はもりちゃんとの約束が...

へ  
ア  
○○○○



お前にも  
こうなるんだよ  
キュアキュンキュン



それも  
人間で作る普通の  
マツクランダーとは  
ワケが違うよ?

マツクラ液で  
真つ暗闇自体を  
ばらまける  
特別製...♥

おかげで  
手つとり早く  
世界を真つ暗闇に  
染められるってもんさ

アッ

この  
マツクラ  
クリスタルでねえ！

あうっ!!  
体のなかに…

そいつはね…  
お前たちが持つ  
目障りなキラキラと  
すべてを照らす光を

心地のよい  
真っ暗闇に  
反転させ…

マツクラランダーとして  
改造しちまう代物さ

マツクラランダーに!!  
そんなもの  
なりたくないっ!

私も先輩たちと  
同じように  
されちやうの!!  
そんなの嫌あ!

ああっ!

あ!





みちっ  
みちっ

みちっ

む、胸が...

びんぐん

ひいひい!!

お、大き〜...

ひいひい!!

体の中で何かが  
暴れてるっ!

ピキッ

コスチュームも...

い、嫌あ...

ピキッ

はっ!!

変わって行くっ!

いいねえ...♡  
目障りな  
フリキュアの  
キラッキラが

クラクラの  
真っ暗闇に  
変転するのは  
何度見ても  
気分がイイ...

変わつちやうっ!

やだやだやだああ!

変えられちやうっ!

私の可愛い  
コスチュームがつ!

やだっ!

ひっ!

あら

姿だけじゃなび...

私の中も  
真っ暗闇が  
満ちて行って...

溢れだすっ…

さあ新しい  
マツクランダーの  
誕生だ…♡





いいねえ...♡  
まだ二人のよりは  
薄いマツクラ液だ

今の放出だけでも  
少し世界が  
暗くなったよ

あああ...

どうしよう...  
私も...



モンスターに...  
マツクランダーに  
変えられちゃった...

やだ...

嫌だあ♡

こんな  
体あ♡

ははは！

ははは！

ぽん...



ううう...  
嫌あ...  
こんな体じゃ  
もうダンスも  
アイドルも  
プリキュアも  
できない...

こんなの  
嫌で嫌で  
しょうがない  
はずなのに...



なんで私...笑ってるの?!

なんで心キュンキュンしてるの...?!

はーはー  
プリキュアが...  
世界を真っ暗闇に  
染めるなんて...

そんなの  
ゼツタイ  
おかし...

元に戻して...  
私も先輩たちも...

こ、こんなの全然  
心キュンキュン  
しないよおおお



マックランダー  
としての  
本能に従えば  
いいものを...

お前たちと同じで  
素直に現実を  
受け入れて  
くれないようだな

よしお前たち  
先輩の  
マックランダーとして  
指導してやりな

やれやれ...



後輩は先輩たちが  
正しい方向へ  
導かなきゃだもんね♥

かしこまりました  
チョッキリーヌ様

嫌...

私たちが  
真つ暗な方へ  
導いてあげる...

こんなの...

あ

あ

あ

いやああああっ  
す、吸わないで  
くださいっ♡

先輩っ♡  
正気に戻って  
くださいっ♡

はもりちゃんが  
おうちで  
待ってますっ...

ええ〜？誰それえ  
私のおうちは  
チョッキリ団だし♡

なな先輩とも  
またピアノ  
弾きたいって...

はもりちゃん？  
誰それ？  
頭の中真つ暗でえ♡

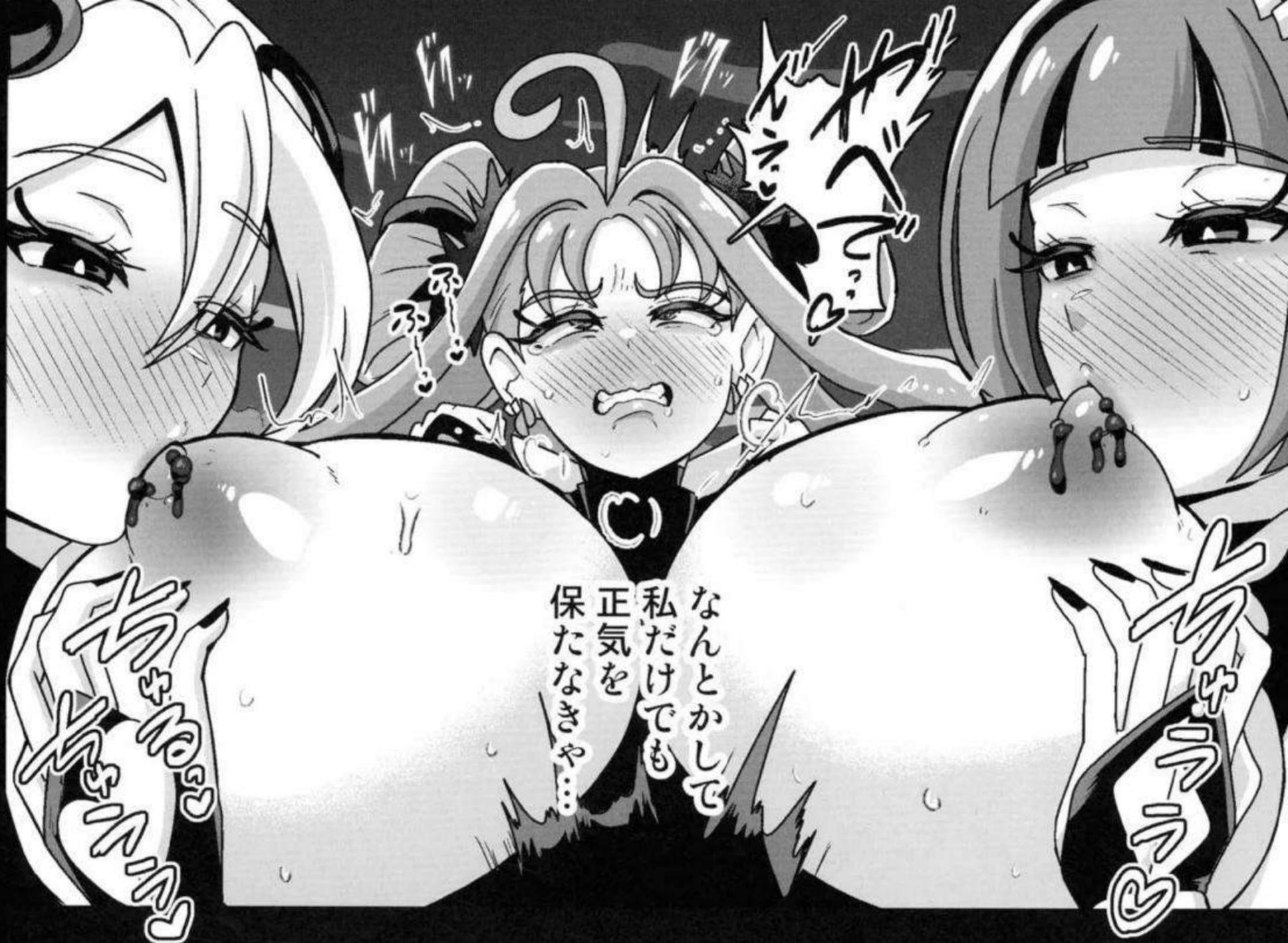
使命のことしか  
わからないわあ♡

ふたりとも  
完全に  
おかしく  
されてる...

やだっ♡  
やだあああ♡

わ、私も  
こうなっちゃうの？

パロッ  
パロッ



なんとかかして  
私だけでも  
正気を  
保たなきゃ...



ここから  
マツクラ液を出すの  
とても気持ち  
いいんだよお〜♡



ひっ♡何それえ…  
やだっ♡  
くっついてるっ♡  
つつんしないで  
くださいっ♡



ほらあ♡  
おちんちんも  
ギンギンに  
なってる…♡

ここからも  
マツクラ液を  
出したいって  
体が言ってるのよお♡

私たちも  
ここからマツクラ液を  
出すのが気持ちよすぎて  
負けちゃったんだから……♡

キウンキウンも負けて  
私たちと  
お揃いになりますよ？

やべで  
くださいっ♡

ひゅっ♡

ベロで皮  
こじ開け  
ないでっ♡

ね？

奥から濃厚な  
マツクラ液の  
香りが来てるよ♡

ぎっ  
来てないっ

き、  
来てませんーっ♡

き、  
来てませんーっ♡

き、  
来てませんーっ♡

れろっ♡  
れろっ♡

奥から  
マツクラ液  
来るっ♡

奥から  
マツクラ液  
来るっ♡

奥から  
マツクラ液  
来るっ♡

おっぱいからの  
比にならないくらい  
強いのがっ♡

先輩っ♡  
目を覚ましてえ！  
私をおかしくしないで  
くださいっ♡

何か来るっ♡♡♡

はは  
はは



ふふふっ♡  
いっぱい♡  
出したねえ♡

ズンズン...  
もっと出したい...  
でもこれ以上出したら  
ゼツタイに取り返しが  
つかなくなる...



あ♡  
やば...♡

精通  
おめでとお♡

これ...  
気持ち...イイ...♡  
心...キョんキョんする...♡

はーはー

ズッ  
ズッ

ほら見て…♡  
これが  
キュンキュンが  
出した  
マツクラ液だよ♡

いやらしい匂いを  
放ちながら  
世界に闇を拡げてる…♡

正真正銘  
これで私たちと  
お揃いだよ…♡  
認めちやお？  
素直に  
なつちやお？

はは  
はは

はは  
はは

先輩方と…

でも…ダメ…  
だって私が諦めたら…  
プリキュアが全滅しちゃう…  
そんなのは嫌…

私…負けない…  
助け出すって  
約束したんです…

またみんな  
歌って踊って…  
みんなを  
キラキラさせたい…

私が憧れているのは  
アイドルとしての  
先輩たちなんだ  
だから…だから…

ふん  
ふん

ふん  
ふん

おっ？

おっ♡

おおおっ♡

だから  
言ったのに♡

ちんぽから  
マツクラ液を出す  
本能には  
負けちゃうって♡

私もがんばって  
無駄な抵抗  
したけどお♡

笑っちゃうくらい  
愚かな行動だったわ♡  
イグクラ液イグクラ液♡  
マツクラ液イグクラ液♡

ちがうっ♡  
まげでませんっ♡

私まげで  
ないもんっ♡

おうっ♡

おうっ♡



マックランダーの  
本能なんかにつ♡  
マックラ液を  
ばらなく本能なんかにつ♡

まっ♡まっ♡  
まげでないっ♡  
あきらめてないっ♡

腰振ってるのはっ♡  
ダンスの練習  
だもんっ♡

たまたま  
ちんちん  
こすれちゃってる  
だけだもんっ♡

やれやれ  
プリキュアってのは  
本当に強情だねえ…

すっかり  
マックランダーに  
改造されてる  
つてのに  
どいつもこいつも  
現実を  
受け入れようと  
しないんだからね…



まあそのために  
ダークイーネ様より  
このマツクラ棒を  
授かったわけだが...

マツクランダーを  
完全に手中に収める  
隷属装置  
マツクラ棒...♡  
キュンキュンも  
これを使って  
マツクランダーになった  
事実を理解させてやると  
するか...♡



正気っ♡  
正気っ♡  
私は正気だもんっ♡

もちろんだ  
たっぷり  
してやる

だがその前に  
この強情っぱりを  
わからせて  
やらねばなあ♡



お前たち  
あとは私がやる

チョッキリー又様あ♡  
マツクラ棒使うのー？  
いいなあ♡

あとで  
私たちにも  
それでお仕置き  
してくださる♡

あううっ♡

な、何を  
する気い♡

ど、どんなこと  
されてもあ♡  
負けないん  
だからあ♡

私っ…  
先輩たちを  
助け出すの…約束…  
約束したからあ…♡

このマツクラ棒で  
体の中に  
刻印を押されたら  
完全に理解できるぞ…♡

お前たちの先輩は  
多少は抵抗したが…  
お前はどうかかな？

キョキョキョキョ

キョキョキョキョ

口では  
強がって  
いても…

こうして  
近づいただけで  
「理解」して  
しまったらどう？

お前が  
あたしたちの  
所有物だと  
いうことを…

私…私…  
私は…



わかつちやっ たっ♡

わかつちやっ たっ♡

わかつちやっ たっ♡

わかつちやっ たっ♡

すぽぽぽっ  
すぽぽぽっ

グズーグズー



子宮に刻まれて  
わかつちやっ たあ♡



私はマックウラ液を  
ばらまく  
マックウラ液サーバー……♡



チヨッキリ団の  
所有物…  
マックウランダ  
なんだって…♡



理解させられ  
ちやっ たあ♡

しゅ、しゅこいれすっ♡  
チヨッキリーヌ様あ♡  
おちんぼで子宮  
突かれるたびっ♡

マックウラ液  
ピュッピュ  
しちゃうっ♡

ごめんね！  
はもりちゃん！

私の子宮はあゝ  
マックウラ液のサーバーの  
ボタンだったんですねえ♡



まだ  
アイツ

約束が真つ暗闇で  
塗りつぶされちやつたよ……♡

ふんっ…  
他愛もない…  
先輩たちは  
もつと頑張ったぞ？

抜  
はる





まあ無理も無いか…  
先輩という心の拠り所が  
無いお前に  
頑張れというのは  
酷というもの

お揃いになれて  
良かったじゃないか

はいっ♡お揃いっ♡  
嬉しいですっ♡  
チヨッキリー又様あ♡

私もダメに  
されちゃった  
のに…

お揃い♡  
お揃い♡



マックウラ棒  
しゅきい♡  
頭のなかは  
まっくらになってえ♡

幸せに  
なっちゃう♡

チヨッキリー又様あ♡  
しゅきしゅき♡

誰かの所有物に  
なるのがこんなに  
心地いいなんて…



負けちゃったのに…  
不思議と  
心地いい…



私っ♡私はある♡  
マックウラ団のモノにっ♡  
ダークイーネ様のモノに  
なりましたあ♡

だからもっと  
してくださいっ♡

不安も悲しみも…  
全部真っ暗闇で  
わからなくなっちゃうた…

ふふ…  
イイね…



マツクラ棒の  
支配を受けて  
残っていた  
僅かなキラキラも  
完全な真っ暗闇……♡

ああ……  
気分がイイ……♡

ちんぽ♡

ちんぽお♡

ちんぽ♡



いいだろう  
このまま  
マツクラ棒で  
ガン突きして  
この町を  
真っ暗闇に染め上げて  
みるか？ふふふ……

きゃはははっ♡  
真っ暗闇っ♡  
真っ暗闇っ♡

私がんばって  
マツクラ液を  
ぶちまけ  
まくりまっすっ♡

はっ♡  
はっ♡

はっ♡  
はっ♡

はっ♡  
はっ♡



そっうだ世界が  
真っ暗闇に  
染め上がれば...

悲しいことも  
寂しいことも  
何もかも  
わからなくなる



お前たちも  
新入りに  
負けないように  
ぶちまけるんだよ

隠されてやうんだ...

はいっ♡  
チヨッキリー又様っ♡  
私たちも  
マツケラ液をぶちまけて  
キラッキランランなもの  
全部全部全部  
塗りつぶしますっ♡



それってなんで  
良いこと  
なんだろう...♡

早く  
真つ暗闇に  
染め上げなきゃ...



はもりちゃん...  
悲しいのは  
あと少しだよ...



もうすぐだよ



もうすぐ...



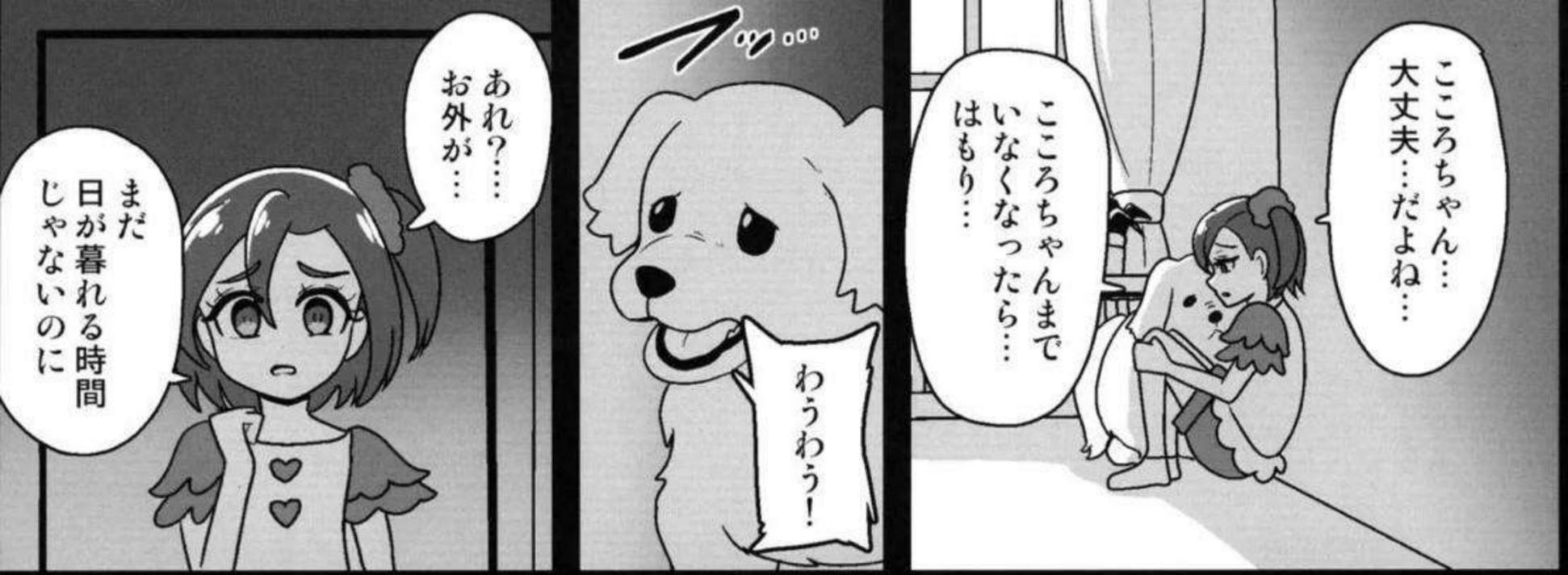
何もかも真っ暗闇で隠してあげるから...



はもりちゃんは大丈夫かの？

こころちゃんときゆう一たろうが励ましてくれてなんとか：





あれ?...  
お外が...

まだ  
日が暮れる時間  
じゃないのに



わうわう!



こころちゃん...  
大丈夫...だよね...

こころちゃんまで  
いなくなったら...  
はもり...

真っ暗...  
真っ暗だよ...



お読みいただきありがとうございます！アクオチスキー先生です！  
春のタイミングでプリキュアの漫画を描くのはいつぶりだろう？  
(というか描いたことあったかな?)という感じで、情報が出そろっていない中で描いているため色々大丈夫かなと思うところもあるんですが…楽しんで頂けたら嬉しいです！  
この数年のシリーズは敵の目的や正体がよくわからなかったり、フェチとの親和性が難しい(デリシャスは食がテーマだったこともあり、性的な盛り上がりとどう絡めればいいのかの答えを出せなかった思い出が)で様子を見ているうちに夏だったり冬だったり(あるいは本筋とはまったく関係のないモノ…アークマラスレイブとか)に描くことが多かったように思えます。  
去年は特にテーマが尊すぎて慎重になってしまった感じでした。泣けるエピソードも多くて…  
今回も真っ暗闇にするという目的はあるものの、現状暴れさせるだけでまだ不明な部分だらけなのではありますが、現状の要素がある中で自分ならどうパロディするかということだけ考えて描いてみることにしました。テーマであるアイドルという要素は今話では描けなかったので、次の話以降で描いていければと思っています…。

今回はキュンキュン描きたさに時系列を無視する形で一番最初にキュンキュン編を描くことにした結果、サブタイトルがなんだかしゃらくさい感じになってしまいました。①とか②でも変な気がするし…と。あとで後悔するかも。  
アンダーグリームのように降順で進めるわけではなく、パズルを埋める形で色々なエピソードを描ければな…と思っています。  
今年は読者さんに楽しんでいただけるような漫画をたくさん描けるようにフットワーク軽く行きたいですね！

次回の漫画もどうぞよろしくお願ひします！

2025年4月25日 アクオチスキー先生 拝



## 暗暗危機 -4月22日午後15時-

発行日 2025年5月4日(ふたけっと)

発行者 アクオチスキー先生/アクオチスキー教室

印刷 有限会社ねこのしっぽ

お手伝い 美月さん

specialThanks 支援サイトのみなさん・読んでくださるみなさん

連絡先 akuochisukii@yahoo.co.jp

先輩たちがさらわれ1週間…

ついにキュンキュンのまえにも

チョッキリ団が現れた！

それも変わり果てた先輩を従えて…

マックラクリスタルにより

マックランダーに改造された3人は

真っ暗闇をこの世界にばらまいてしまうのか！？

